

2019年度 事業計画



高松空港株式会社



成長目標と取組方針

15年後の将来像実現に向けた“**成長基盤形成期間**”の2年目として、成長目標の早期達成を目指し、旅客数増加に向けた受入環境の整備や利用者の利便性向上に取り組めます。



目標値

	2018年度 (実績)	2019年度
旅客数	209 万人	222 万人
国内	177 万人	186 万人
国際	32 万人	36 万人
取扱貨物量	0.6 万トン	0.7 万トン



主要財務項目

項目	2019年度 (単位:百万円)
営業収益	2,225
空港運営事業	874
ビル施設事業	1,342
営業費用※ (うち、減価償却費)	2,804 (684)
内 空港運営事業	1,257
内 ビル施設事業	1,191
営業利益(償却前)	105
営業利益	▲579
当期純利益	▲622

※運営権償却費を含む



成長目標の達成に向けた取組み



旅客数・取扱貨物量の増加

エアラインマーケティング

- 自治体とのパートナーシップ協定に基づくエアライン誘致
- 新規就航や増便等を促す新たな料金体系の導入
- 経験豊富な専門家集団による誘致体制の強化
- 海外カンファレンス参加等、就航ターゲット先でのプロモーション

安全・安心な空港運営

- 長期にわたって安全・安心を確保する実施体制の構築

空港アクセスの強化

- 二次交通事業者と連携した四国瀬戸内の主要な都市・観光地へのアクセス手段の拡充や利便性の向上

観光プロモーション

- エアラインやDMOとタイアップしたプロモーション
- 就航先空港と連携したプロモーションの実施
- 首都圏での観光プロモーション実施
- 観光資源を堪能する新たな観光コンテンツのプロデュース



利用者の利便性向上

駐車場

- 立体駐車場の完成
- 駐車場出入口増設

国際線免税店舗

- お客様のニーズに即した商品ラインナップの見直し

案内サービス

- インフォメーションセンターの多言語対応強化



設備投資計画

運営権施設への更新投資

投資総額 約10.2億円

<主な投資項目>

- 駐車場の利便性向上(出入口増設、立体駐車場完成等)

立体駐車場完成後のイメージ



非運営権施設への整備投資

投資総額 約8.8億円

<主な投資項目>

- 旅客ビル施設に関する修繕・更新
- 新事務所棟完成 等